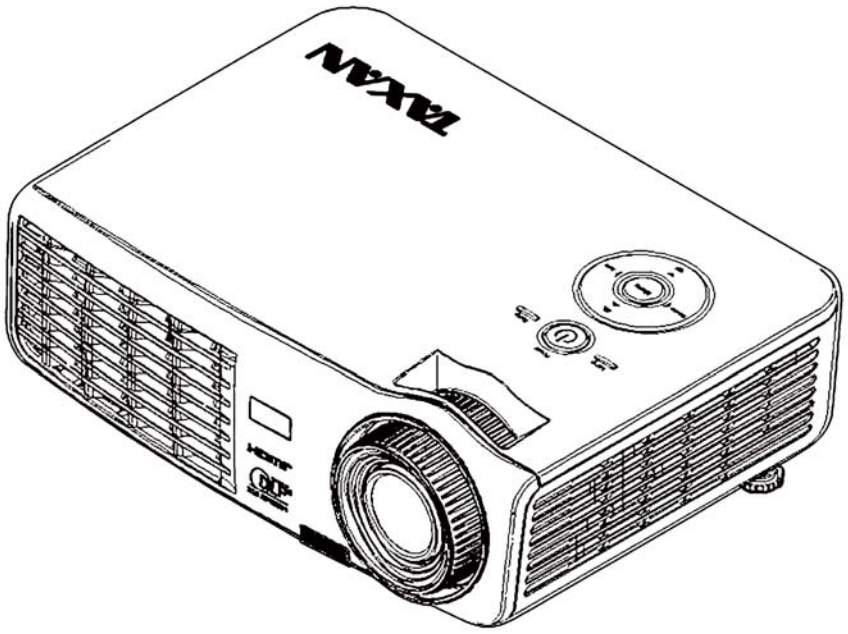
TAXAN

DATA PROJECTOR
User's Manual

データプロジェクタ取扱説明書
KG-PS301WX



はじめに

このたびは、TAXAN データプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。
この製品を正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになった後は、「保証書」とともに、いつでも見ることができるように大切に保管してください。
万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときには、この「取扱説明書」をお読みください。

本書は型名 **KG-PS301WX** の取扱説明書です。
詳しくは下表及び「主な仕様」をご確認ください。→ p. 52

型番	解像度（フル機能）
KG-PS301WX	1280 × 800（WXGA）

- DLP®（Digital Light Processing）は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- XGA は米国 IBM Corp.の登録商標です
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国 Apple Inc. の商標です。
- Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
(4) 本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

目次

安全のために必ずお守りください 5
ご使用の前に 5
使用上のお願い 5
ご使用前に 11
付属品を確認する 11
本体各部の図 12
右前面図 12
上面図 ー 画面表示（OSD）ボタンおよびLEDインジケーター 13
背面図 14
底面図 15
リモコン各部 16
プロジェクタ本体およびリモコンのボタン 17
設置および操作 18
リモコンに電池を入れる 18
入力装置と接続する 19
プロジェクタの電源を入/切する 20
アクセスパスワード（セキュリティロック）の設定 22
プロジェクタの高さ調整 24
ズーム、フォーカス、台形補正の調整 25
音量調整 26
画面表示（OSD）メニュー設定 27
メニュー操作 27
メニューの操作 27
言語設定 28
メニュー概要 29
サブメニュー概要 30
投映設定メニュー 31
アドバンス機能 32
カラー調整 33
コンピュータメニュー 34
ビデオ/オーディオメニュー 35
オーディオ 36
設定-1 メニュー 37
アドバンス 38
プレゼンテーションタイマー 38
設定-2 メニュー 39
アドバンス機能 40
メニュー設定 41
テストモード 41
ランプ使用時間リセット 42
初期化 42
情報 43

メンテナンスおよびセキュリティ 44
ランプの交換 44
ランプ使用時間のリセット 46
プロジェクタのお手入れ 47
プロジェクタ本体の汚れは 47
レンズの汚れは 47
吸気孔、排気孔のほこりは 47
本体内部の掃除は 47
Kensington®ロックの使い方 48
故障かな？と思ったら 49
よくある問題と解決方法 49
インジケーターのエラーメッセージ 50
映像の問題 50
ランプの問題 51
リモコンの問題 51
音声の問題 51
プロジェクタの点検を依頼する 51
主な仕様 52
仕様一覧 52
投映距離と投映画面サイズ 53
投映距離と投映画面サイズ一覧表 53
対応周波数一覧表 54
本体寸法 56
アフターサービス 57
無料修理 57
有料修理 57
修理不能 57
補修用性能部品の保有期間 57
修理ご依頼に際してのご注意 57

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害を与えたりすることがあります。

絵表示の意味

△	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（右図の場合は感電注意）が描かれています。	
⊘	この記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（右図の場合は分解禁止）が描かれています。	
●	この記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（右図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。	

使用上のお願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

1. **ご使用の前にはレンズキャップを必ずはずしてください。**
2. **投映レンズ面は素手でさわらないでください。**
   投映レンズ面に指紋や汚れがつくと、充分な画質が得られませんので、レンズ面には手をふれないでください。
3. **スクリーンについて**
   ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
4. **リモコンについて**
   本機の操作の一部はリモコンのみで行います。リモコンをなくさないようにご注意ください。
5. **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**
   動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
6. **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**
   高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
7. **廃棄について**
   本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、販売店または弊社「カスタマーセンター」に交換をご依頼ください。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があります。キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は販売店または弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。

高温注意

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となります。ランプ交換の際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、45 分以上たって充分にランプが冷えてから行ってください。

禁止

レンズをのぞかない

投映中にプロジェクタのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

禁止

次のようなところでは使用しない

火災・感電の原因となります。

- 暖房の近くや振動の多い所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 油煙や湿気の当たるような場所。（調理台や加湿器のそばなど）

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告

定格電圧以外
使用禁止

表示以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水場や水にぬれるような所には置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

電源プラグを
コンセントから抜く

故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

すぐ修理依頼を

取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

禁止

排気孔、吸気孔をふさがない

排気孔、吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 周囲の壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

電源プラグを
コンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となります。

禁止

プロジェクタの上に水が入った物を置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

安全のために必ずお守りください

⚠警告

電源プラグを
コンセントから抜く

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の付近の付着物はとる

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ソフトケースには本機および付属品以外は入れない

内部にクリップやホッチキスの針等の金属片や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

本機を移動するときは、緩衝付きの梱包材に入れる

- 本機を別の場所に移動する場合は、運搬時の落下・衝撃を防ぐために、付属のソフトケースに入れた上で、更に緩衝付きの梱包材に入れて運搬してください。
- ソフトケースにクリップやホッチキスの針等の金属片や異物が入っていると、移動時の振動で本体内部に入る場合があり、電源を入れたときに火災や感電の原因になります。

⚠注意

禁止

電源コード・電源プラグについて

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止器具などをはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源コードは本製品以外の製品には使用しないでください。

安全のために必ずお守りください

⚠注意

部品割れは
修理依頼を

部品が割れた際は修理依頼を

本機内部にはレンズやフィルタ、ランプなどのガラス部品を多数使用しています。
万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないように取り扱いに注意し、販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

無理な扱いはしない

ソフトケースの取り扱い上のご注意

本機を入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。
本機の傷や故障の原因になることがあります。

内部の掃除は
販売店で

点検・工事について

1 年に一度くらいは内部の掃除を販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。

電池の取り扱い

電池の取り扱いには注意してください。火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 電池をリモコンに入れる場合、極性を(プラス＋とマイナス−の向き)に注意し、機器の表示通りに入れる。
- 使いきった電池はすぐに機器から取り出す。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。
- 電池を廃棄するときは、その地域の回収方法に従ってください。

投映中、レンズの前には物を置かない

投映中にレンズの前に水槽等、レンズ効果をもたらすものを置かないでください。火災の原因となることがあります。

高温注意

高温注意

投映中及び投映終了直後は排気孔付近が高温になっており、手を近づけるとやけどの原因となることがあります。
投映中及び投映終了直後は排気孔付近に触れずに温度が下がるまでお待ちください。

安全のために必ずお守りください

⚠注意　3D 映像視聴時

以下の症状のある方は 3D の視聴を控えてください

- てんかんの可能性がある人、光過剰の既存症のある人、心臓疾患のある人、体調の悪い人は 3D 映像を控えて下さい。体調悪化の原因となることがあります。
- 視聴中に感覚の異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりした時は視聴を中止して下さい。そのまま視聴を続けると症状が悪化することがあります。

長時間の視聴は避けてください

長時間の視聴は避け、適度に休息をとって下さい。
目の疲れの原因となることがあります。

お子様の 3D 視聴にはご注意

お子様の 3D 視聴には保護者が同席して下さい。
お子様は 3D 視聴による不快感が請じても適切に対応出来ないがあるので保護者が付き添って視聴下さい。

3D 視聴は適正な角度、距離で

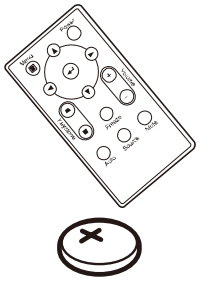
3D 視聴は画面正面の適正な距離でご覧下さい。
近づいて視聴すると目の疲れや視覚異常の原因となることがあります。

ご使用前に

付属品を確認する

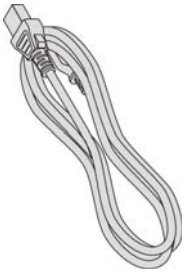
本体と付属品を箱から取り出して、次のものが同梱されていることをご確認ください。
※付属の電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

DLP プロジェクタ（レンズキャップ付）

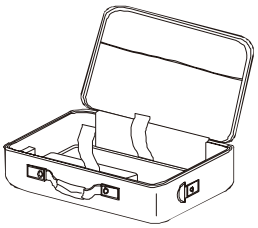


リモコン
（3V CR2025 電池 1 個付）

RGB ケーブル



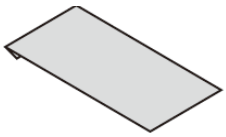
電源コード



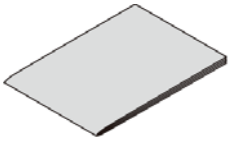
携帯用ケース

CD-ROM
（この取扱説明書）

クイックスタートガイド



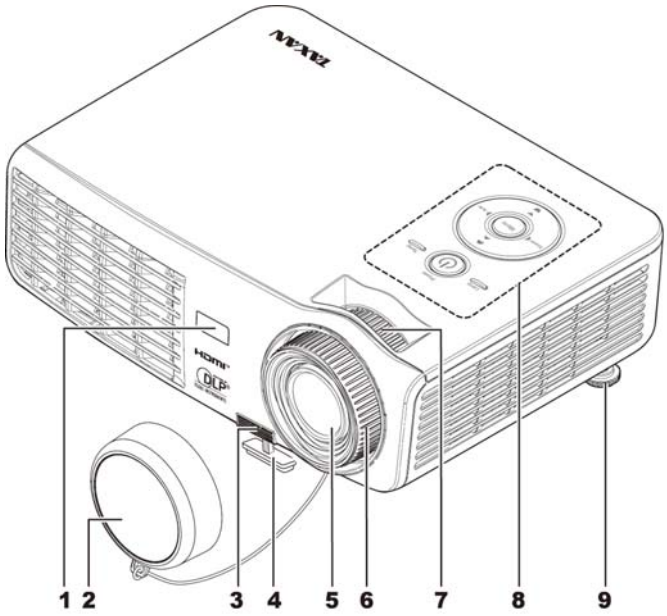
保証書



セーフティガイド

本体各部の図

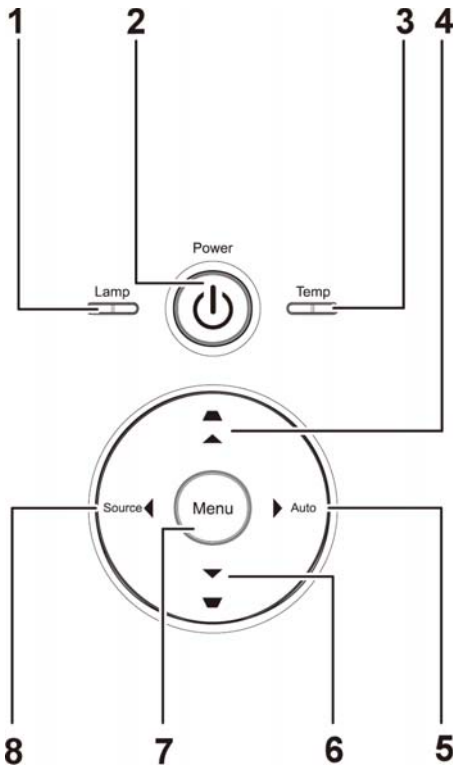
右前面図



項目	名称	説明	参照ページ
1.	IR 受信部	リモコンから発信される IR 信号を受信します。	16
2.	レンズ キャップ	使用しないときにレンズを保護します。	
3.	前部アジャスターボタン	このボタンを押すと、前部アジャスターを開放します。	24
4.	前部アジャスター	プロジェクタの高さを調整します。	
5.	レンズ	投映レンズ	
6.	フォーカスリング	投映画像の焦点を合せます。	25
7.	ズーム リング	投映画像を拡大します。	
8.	本体操作部	上面図-画面表示(OSD)ボタン、および LED ランプを参照してください。	13
9.	後部アジャスター	プロジェクタの高さを調整します。	24

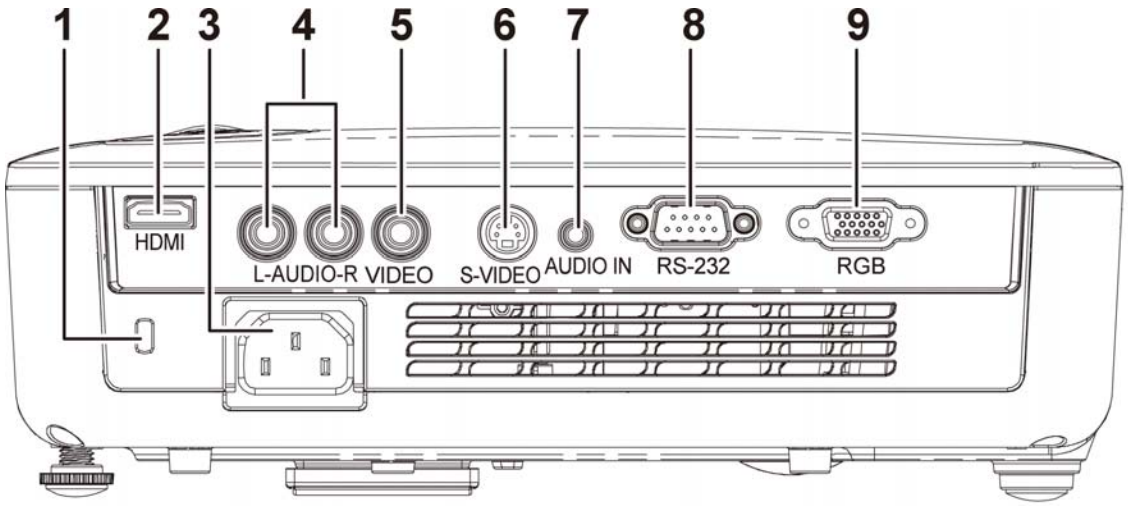
重要:
プロジェクタの排気孔は空気の循環を良くし、本体のランプを冷やすためのものです。排気孔をふさがないでください。

上面図 ー 画面表示（OSD）ボタンおよび LED インジケーター



項目	名称	説明		参照ページ
1.	LAMP インジケーター	点灯	ランプエラー	
		消灯	正常な状態	
2.	⏻（POWER）	プロジェクタの電源を入/切します。		20
3.	TEMP インジケーター	点灯	装置の温度異常	
		消灯	正常な状態	
4.	▲（上カーソル）/ 台形補正	メニューの設定を操作し、変更します。 クイックメニュー ー 台形補正		27
5.	▶（右カーソル）/ Auto	メニューの設定を操作し、変更します。 画像サイズ、位置、および解像度を最適化します。		
6.	▼（下カーソル）/ 台形補正	メニューの設定を操作し、変更します。 クイックメニュー ー 台形補正		
7.	Menu	メニューボタンを表示および終了します。		
8.	◀（左カーソル）/ Source	メニューの設定を操作し、変更します。 入力装置を検出します。		

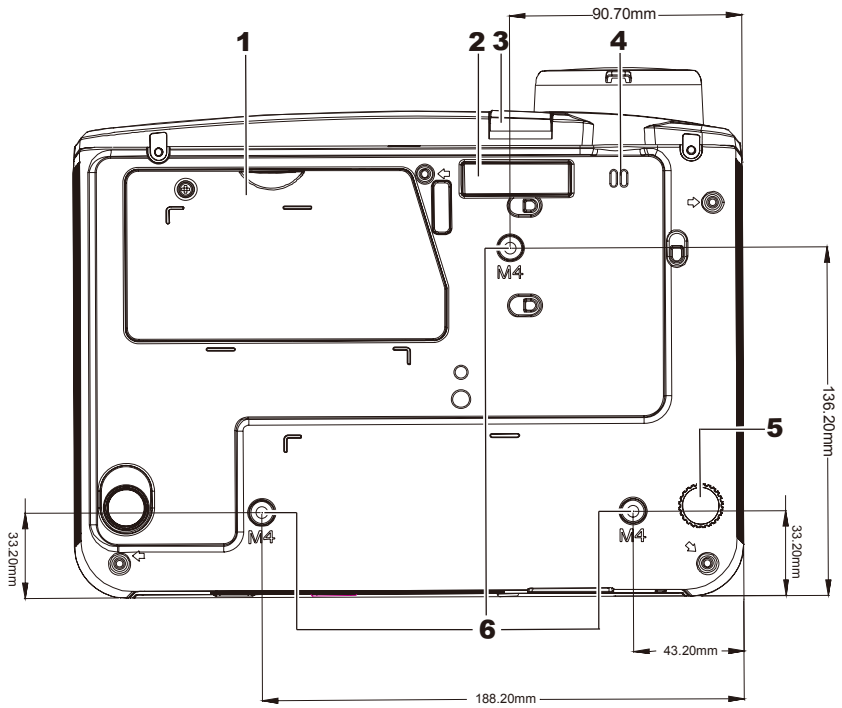
背面図



項目	名称	説明	参照ページ
1.	Kensington ロック	Kensington®ロックシステムでプロジェクタを常設物に固定します。	48
2.	HDMI 端子	HDMI ケーブルを接続します。	19
3.	AC IN 端子	電源コードを接続します。	20
4.	AUDIO IN（L / R）端子	オーディオケーブルを接続します。	19
5.	VIDEO IN 端子	コンポジットケーブルを接続します。	
6.	S-VIDEO IN 端子	S ビデオケーブルを接続します。	
7.	AUDIO IN 端子	オーディオケーブルを接続します。	
8.	RS-232C 端子	RS-232 シリアルポートケーブルを接続します。	
9.	RGB IN 端子	RGB ケーブルを接続します。	

注記:
RS232C コマンドについてはカスタマーセンターへお問い合わせください。

底面図



ネジタイプ:M4

最大ネジ長:8.0mm

最小ネジ長:6.0mm

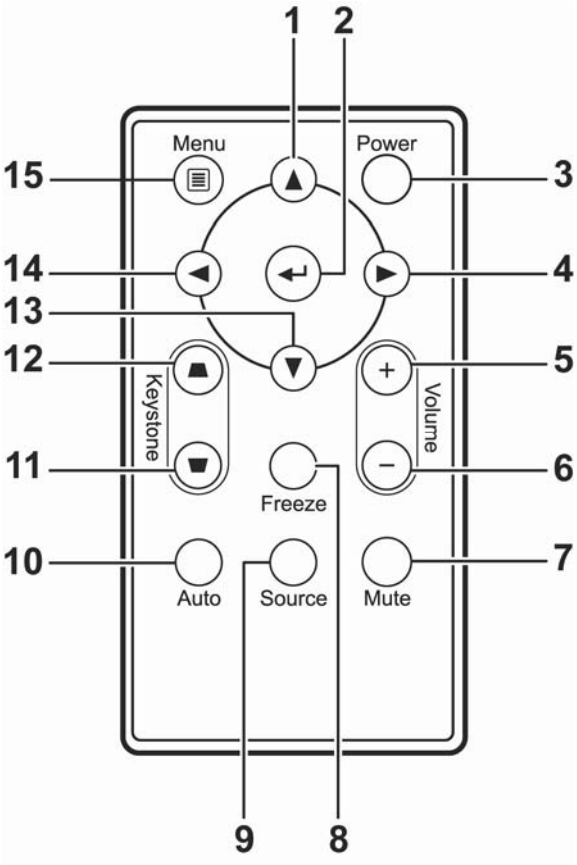
項目	名称	説明	参照ページ
1.	ランプカバー	ランプを交換するときは取り外してください。	44
2.	前部アジャスター	開放ボタンを押すとアジャスターが下に落ちます。	24
3.	開放ボタン	ボタンを押すとアジャスターを開放します。	
4.	レンズキャップフック	レンズキャップカバーを留めるためのフックです。	
5.	後部アジャスター	アジャスターレバーを回して角度位置を調整します。	24
6.	天吊り支持穴	プロジェクタの天吊り設置に関する詳細は、販売店にお問い合わせください。	

注記:

プロジェクタを天吊り設置する場合は、TAXAN 製の正しいプロジェクタ天吊りキットを使用し、確実かつ安全に設置することを強くお勧めします。

TAXAN 製以外のプロジェクタ天吊りキットを使用すると、ネジのゲージや長さが異なったものが使用されている可能性があり、そのために正しい取り付けができず、プロジェクタが落下するなどの安全面の危険性があります。

リモコン各部



重要:

1. 明るい蛍光灯が点灯している場所で使用しないでください。一定の高周波の蛍光灯により、リモコンの動作が妨害される可能性があります。

2. リモコンとプロジェクタ間の信号経路に障害物がないことを確かめてください。リモコンとプロジェクタの信号経路が遮られている場合は、プロジェクタのスクリーン等、反射面を利用して信号を反射させることができます。

3. 本体のボタンおよびキーには、対応するリモコンのボタンと同様の機能があります。この取扱説明書では、リモコンのボタンを中心にその機能を説明しています。

項目	名称	説明	参照ページ
1.	上カーソル	メニューの設定を操作し、変更します。	27
2.	Enter	メニューの設定を変更します。	
3.	Power	プロジェクタの電源を入/切します。	20
4.	右カーソル	メニューの設定を操作し、変更します。	27
5.	Volume ＋	音量を上げます。	26
6.	Volume －	音量を下げます。	
7.	Mute	内蔵スピーカーの音声をミュートします。	
8.	Freeze	画面に表示されている画像を一時停止/一時停止を解除します。	
9.	Source	入力装置を検出します。	19
10.	Auto	周波数、トラッキング、サイズ、位置の自動調整（RGB のみ）	
11.	Keystone（上部）	画像の台形歪み（上部がより広くなる）を補正します。	25
12.	Keystone（底部）	画像の台形歪み（底部がより広くなる）を補正します。	
13.	下カーソル	メニューの設定を操作し、変更します。	27
14.	左カーソル	メニューの設定を操作し、変更します。	
15.	Menu	メニューを表示します。	

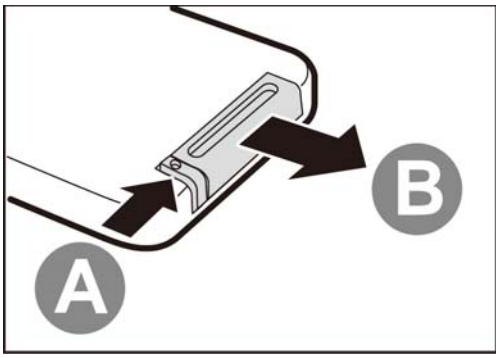
プロジェクタ本体およびリモコンのボタン

プロジェクタは、リモコンまたはプロジェクタ本体上面のボタンで操作することができます。リモコンでは全ての操作を行うことができますが、プロジェクタ本体のボタンは操作に制限があります。

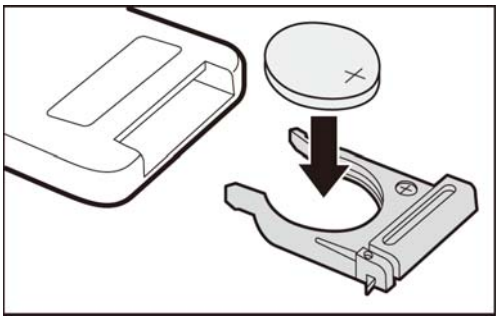
設置および操作

リモコンに電池を入れる

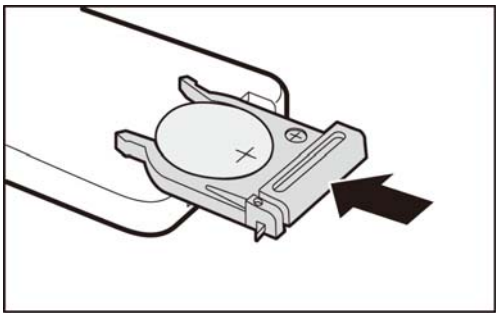
1. 電池ケースのふたを矢印の方向（**A**）にスライドさせて、ふたを取り外してください（**B**）。



2. ＋側が上になるように電池を入れてください。



3. ふたを元に戻してください。



⚠注意

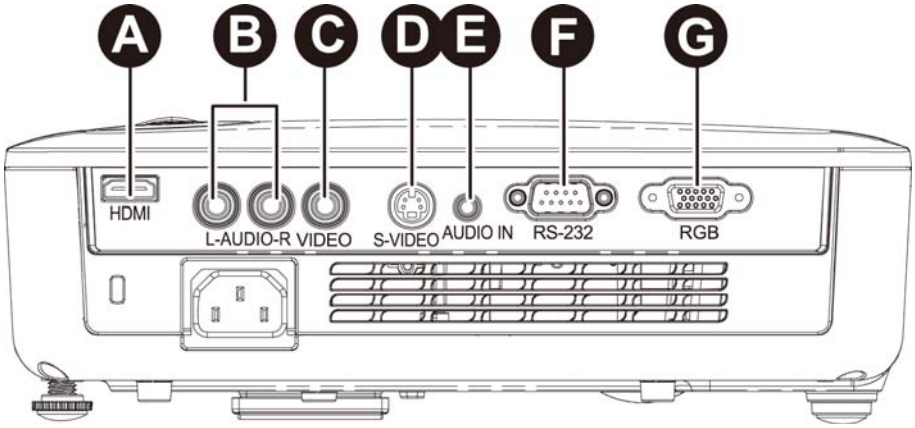
1. 3V のリチウム電池（CR2025）以外の電池を使用しないでください。

2. 使用済み電池は地域の条例・規制に従って処分してください。

3. プロジェクタを長期間使用しないときは電池を取り出してください。

入力装置と接続する

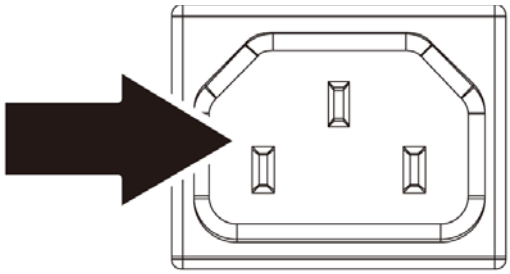
デスクトップまたはノートパソコンと映像機器を同時に本機に接続することができます。映像機器には、ビデオカメラやデジタルカメラ、DVD プレーヤー、VCD プレーヤー、VHS プレーヤーなどが含まれます。接続する機器の取扱説明書を確認し、機器に適切な出力端子があることを確かめてください。



項目	名称	説明
A	HDMI 端子	HDMI ケーブルを接続します。
B	AUDIO IN（L/R）端子	オーディオケーブルを接続します。
C	VIDEO IN 端子	コンポジットケーブルを接続します。
D	S-VIDEO 端子	S ビデオケーブルを接続します。
E	AUDIO IN 端子	オーディオケーブルを接続します。
F	RS-232C 端子	RS-232 シリアルケーブルを接続します。
G	RGB IN 端子	RGB ケーブルを接続します。

プロジェクタの電源を入/切する

1. プロジェクタ本体に電源コードを接続してください。電源コードのもう一方のコネクターをコンセントと接続してください。プロジェクタの ⏻ **POWER** インジケーターが点灯します。



2. 接続機器の電源を入れてください。

3. LAMP インジケーターが橙色に点滅していないことを確かめてください。次に、⏻ **POWER** ボタンを押して、プロジェクタの電源を入れてください。

プロジェクタの起動画面が表示され、接続機器が検出されます。

セキュリティロックが有効になっている場合は、22ページの「アクセスパスワード（セキュリティロック）の設定」をご参照ください。

4. 1 台以上の入力装置が接続されている場合は、**Source** ボタンを押し、▲▼カーソルボタンでスクロールして装置を選択してください。（コンポーネントは、RGB/コンポーネントアダプターで対応しています。）

- コンピュータ：アナログ RGB
  コンポーネント：DVD 入力 YCbCr / YPbPr、または HDTV 入力 YPbPr（HD15 コネクター経由）
- コンポジット：コンポジット
- S-Video：S ビデオ
- HDMI：HDMI

5. 「電源を切ります。よろしければ **Power** を押して下さい。」とメッセージが表示されたら、**Power** ボタンを押してください。プロジェクタの電源が切れます。

⚠注意

1. プロジェクタの電源を入れる前に必ずレンズキャップを取り外してください。

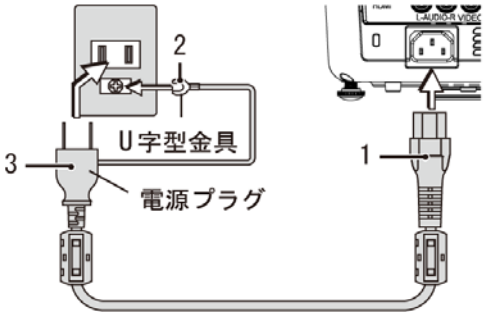
2. POWER インジケーターの点滅が停止するまで電源コードを抜かないでください。

電源コードの差込み方法

1. 付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する

2. 電源コードの U 字型金具をコンセントのアース端子に接続する

3. 電源プラグをコンセントに差し込む



⚠注意

- アース端子の接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース端子の接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。
- 本機の電源は、必ずアース付き交流 100V のコンセントを使用してください。
- 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。

アクセスパスワード（セキュリティロック）の設定

4 つの（矢印）ボタンを使ってパスワードを設定し、プロジェクタの無断使用を防ぐことができます。アクセスパスワードが設定されている場合は、プロジェクタの電源を入れた後パスワードを入力しなければなりません。（メニューの使用方法については、27 ページの「メニュー操作」および 28ページの「言語設定」をご参照ください。）

重要:
パスワードは安全な場所に保管してください。パスワードがないと、プロジェクタをお使いいただけません。パスワードを失くした場合、パスワードの解除についてはカスタマーセンターにお問い合わせください。

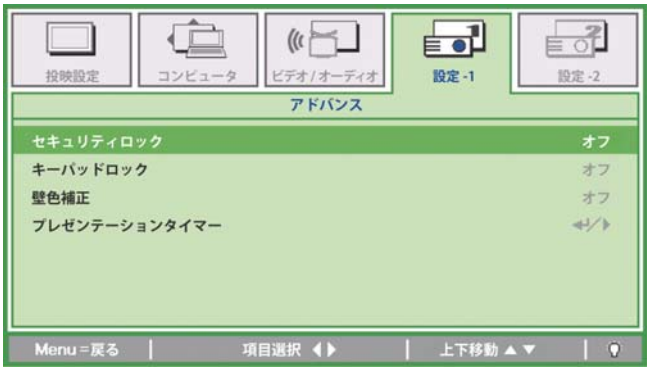
1. **Menu** ボタンを押して、メニューを表示させてください。

2. ◀▶カーソルボタンを押して**設定-1** メニューに選択を移動させます。▼カーソルボタンを押して**アドバンス**を選択してください。

3. ▲▼カーソルボタンを押して、**セキュリティロック**を選択してください。

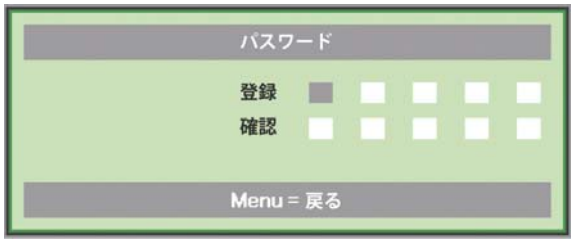
4. ◀▶カーソルボタンを押して、セキュリティロック機能を有効または無効にします。

パスワード入力ダイアログボックスが自動的に表示されます。

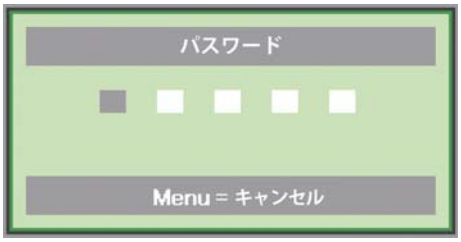


5. キーパッドまたは IR リモコンのカーソルボタン▲▼◀▶を使ってパスワードを入力することができます。同じ矢印を 5 回押す等、どんな組み合わせでも入力可能ですが、必ず 5 桁入力してください。

任意の順番でカーソルボタンを押して、パスワードを設定してください。**Menu** ボタンを押して、ダイアログボックスを終了させてください。



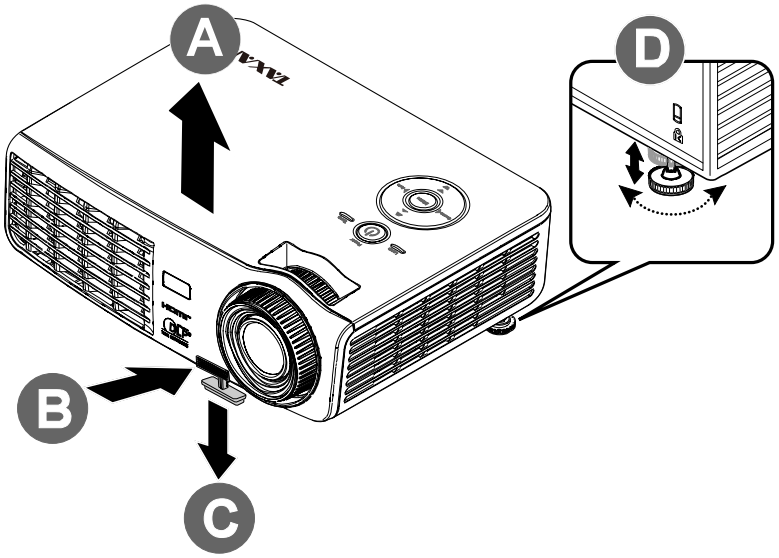
6. **セキュリティロック**が有効になっている場合は、ユーザーが電源ボタンを押すと、パスワード確認メニューが表示されます。
手順 5 で設定した順番でパスワードを入力してください。パスワードをお忘れになった場合は、カスタマーセンターにご相談ください。



プロジェクタの高さ調整

プロジェクタを設置するときは以下にご注意ください。

- プロジェクタを設置するテーブルや台は、水平で頑丈なものをご使用ください。
- プロジェクタがスクリーンに対し垂直になるようにプロジェクタの位置を合せてください。
- コード類が安全に配置されていることを確かめてください。ケーブルにつまずく可能性があります。



1. プロジェクタの高さを上げるには、プロジェクタ**(A)**を持ち上げ、前部アジャスターボタン**(B)**を押してください。
   前部アジャスターが下に落ちます**(C)**。

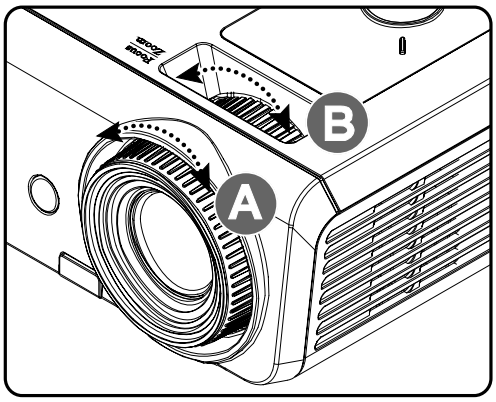
2. プロジェクタの高さを下げるには、前部アジャスターボタンを押して、プロジェクタ本体の上部を下に押してください。

3. 画像の傾きを調整するには、お好みの角度になるまで、後部アジャスター**(D)**を右または左に回してください。

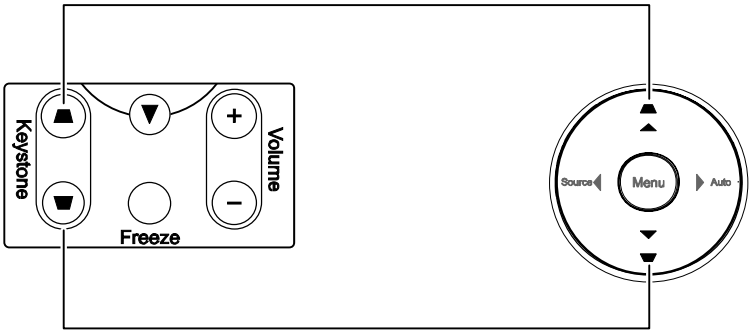
ズーム、フォーカス、台形補正の調整

1. **ズームリング**（プロジェクタ本体のみ）を使って投映画像およびスクリーンのサイズを変更してください。**(B)**

2. **フォーカスリング**（プロジェクタ本体のみ）を使って投映画像の焦点を合せてください。**(A)**



3. **Keystone** ボタン（プロジェクタ本体またはリモコン）を使って画像の台形歪み（上部または底部が広くなる）を補正してください。

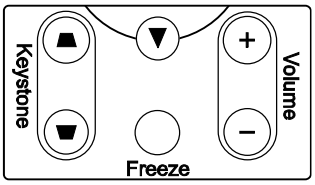


リモコンおよびメニュー操作パネル

4. 台形補正調整バーが画面に表示されます。

音量調整

1. リモコンの **Volume**＋/－ボタンを押してください。
音量調整バーが画面に表示されます。



2. キーパッドの**右**または**左カーソル**ボタンを押して**音量**＋/－を調節してください。

3. **Mute** ボタンを押して音声を消してください。（この機能はリモコンでのみご使用いただけます。）

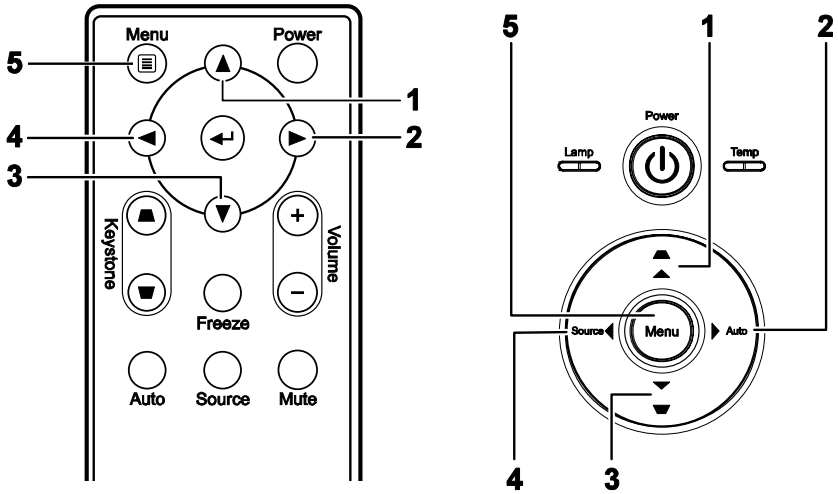
画面表示(OSD)メニュー設定

メニュー操作

本機には、お客様が画像調整および各種設定の変更を行うことができるようメニューが用意されています。

メニューの操作

リモコンのカーソルボタンまたはプロジェクタ本体上面のボタンを使って、メニューを操作および変更していただけます。
以下の図は対応するプロジェクタ本体のボタンを示しています。



1. メニューを表示させるには、**Menu** ボタンを押してください。
2. 5 つのメニューがあります。◀▶カーソルボタンを押して、メニュー間を移動します。
3. ▲▼カーソルボタンを押して、メニュー内を上下に移動します。
4. ◀▶を押して、設定値を変更してください。
5. **Menu** を押してメニューまたはサブメニューを閉じてください。

注記:
映像信号によって、ご利用いただけないメニュー項目があります。例えば、**コンピュータ**メニューの**水平/垂直位置**調整項目はパソコンと接続されている場合にのみ変更することができます。ご利用いただけない項目はグレー表示され、選択することができません。

言語設定

操作を続ける前にお好みの言語を設定してください。

1. **Menu** ボタンを押してください。◀▶カーソルボタンを押して、設定-1 に合せてください。

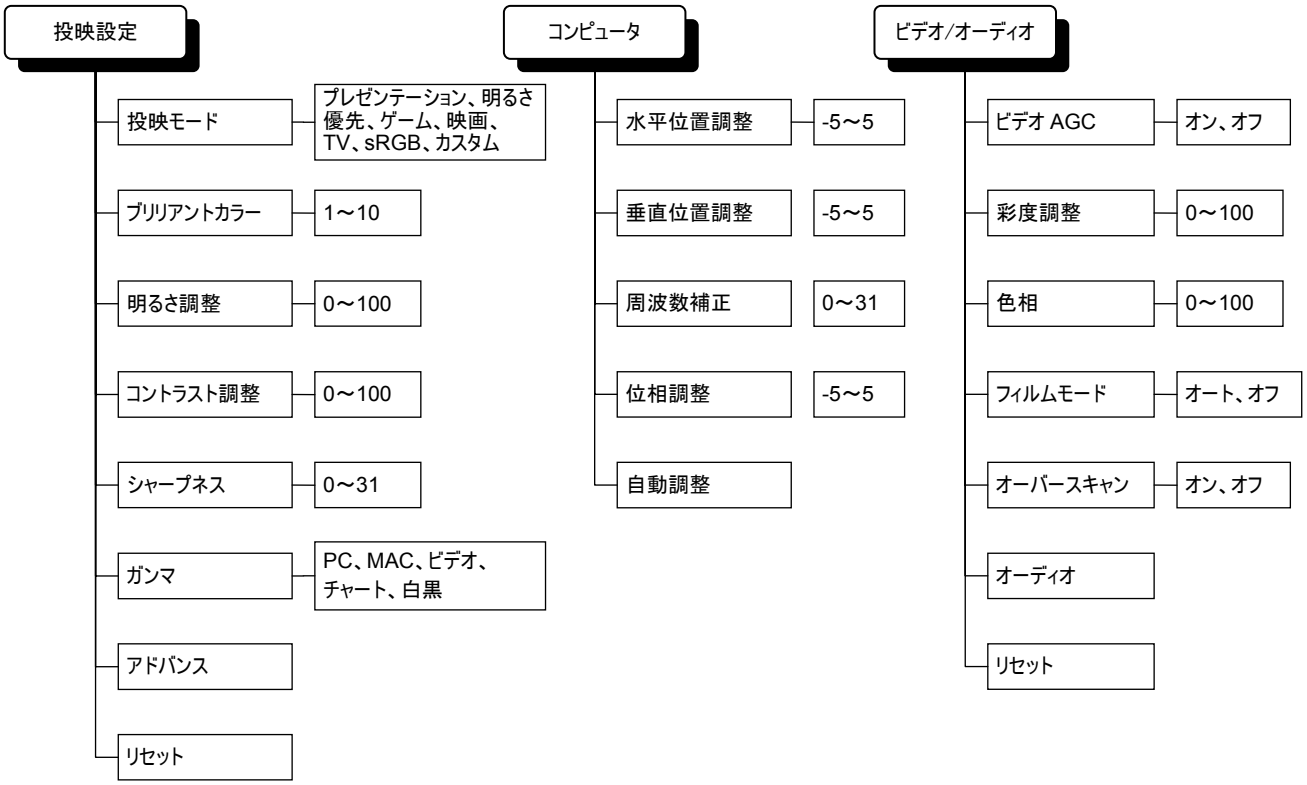
2. **言語**が表示されるまで、▲▼カーソルボタンを押してください。

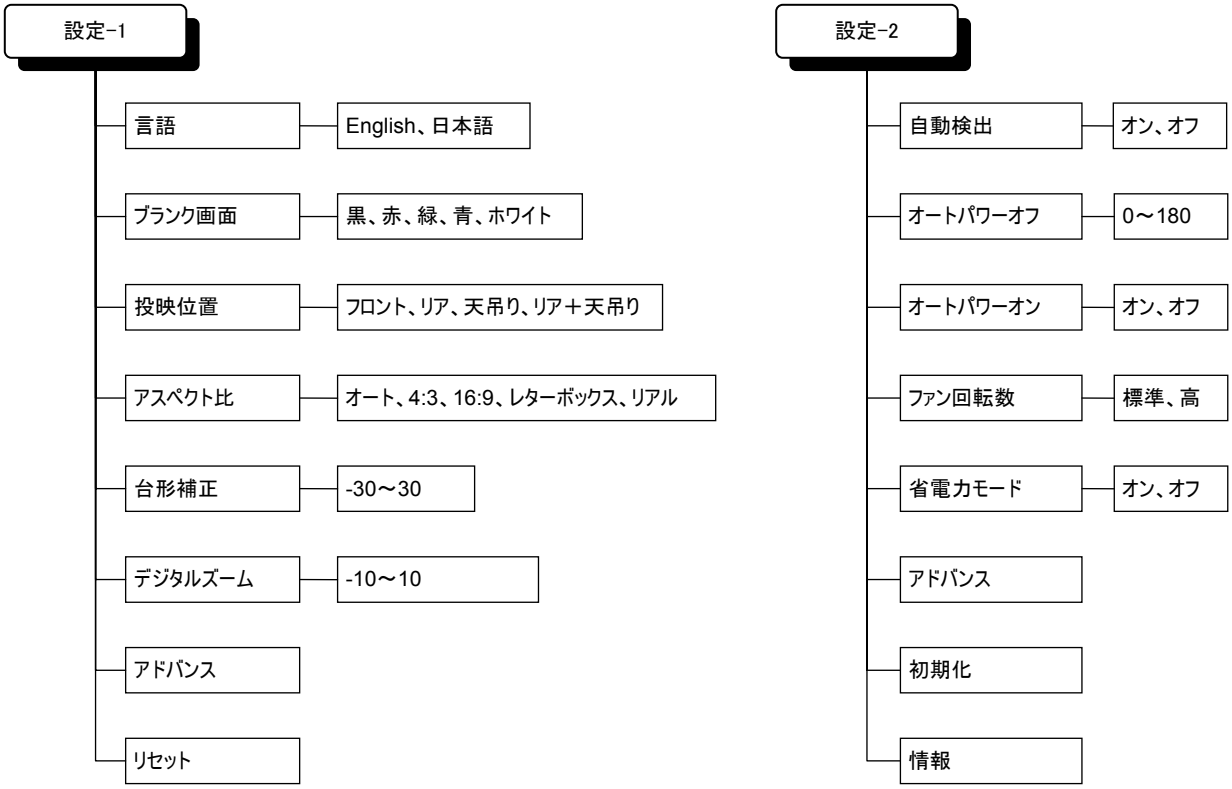
3. ご希望の言語が表示されるまで、◀▶カーソルボタンを押してください。

4. **Menu** ボタンを 2 回押して、メニューを閉じてください。

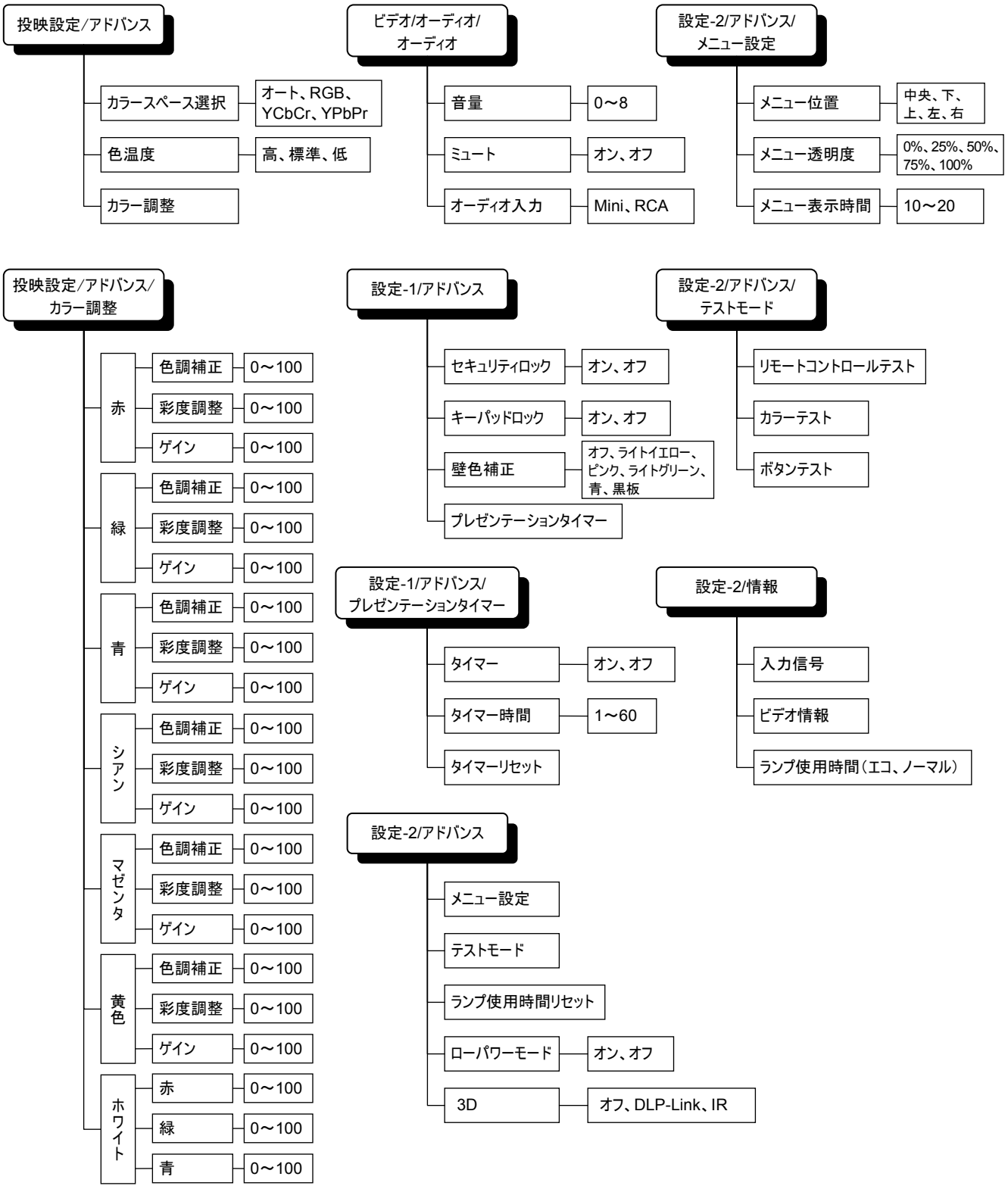
メニュー概要

設定をすばやく探したり、設定範囲を決定したりする際に以下の図をご利用ください。





サブメニュー概要


投映設定/アドバンス
カラースペース選択
オート、RGB、YCbCr、YPbPr
色温度
高、標準、低
カラー調整
ビデオ/オーディオ/オーディオ
音量
0～8
ミュート
オン、オフ
オーディオ入力
Mini、RCA
設定-2/アドバンス/メニュー設定
メニュー位置
中央、下、上、左、右
メニュー透明度
0%、25%、50%、75%、100%
メニュー表示時間
10～20
投映設定/アドバンス/カラー調整
赤
緑
青
シアン
マゼンタ
黄色
ホワイト
色調補正
彩度調整
ゲイン
赤
緑
青
0～100
設定-1/アドバンス
セキュリティロック
オン、オフ
キーパッドロック
オン、オフ
壁色補正
オフ、ライトイエロー、ピンク、ライトグリーン、青、黒板
プレゼンテーションタイマー
設定-2/アドバンス/テストモード
リモートコントロールテスト
カラーテスト
ボタンテスト
設定-1/アドバンス/プレゼンテーションタイマー
タイマー
オン、オフ
タイマー時間
1～60
タイマーリセット
設定-2/情報
入力信号
ビデオ情報
ランプ使用時間（エコ、ノーマル）
設定-2/アドバンス
メニュー設定
テストモード
ランプ使用時間リセット
ローパワーモード
オン、オフ
3D
オフ、DLP-Link、IR

投映設定メニュー

Menu ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。◀▶カーソルボタンを押して、**投映設定**メニューに移動します。
▲▼カーソルボタンを押して、**投映設定**メニュー内を上下に移動します。◀▶を押して、設定値を変更してください。

項目	説明
投映モード	◀▶カーソルボタンを押して、投映モードを設定します。
ブリリアントカラー	◀▶カーソルボタンを押して、ブリリアントカラー値を調節します。
明るさ調整	◀▶カーソルボタンを押して、映像の明るさを調整します。
コントラスト調整	◀▶カーソルボタンを押して、映像のコントラストを調整します。
シャープネス	◀▶カーソルボタンを押して、映像のシャープネスレベルを調整します。
ガンマ	◀▶カーソルボタンを押して、映像のガンマ補正を調整します。
アドバンス	↵(Enter)/ ▶を押すと、アドバンスメニューに移行します。 32ページの「アドバンス機能」を参照してください。
リセット	↵(Enter)/ ▶を押すと、全ての設定がデフォルト値に戻ります。

⚠注意
リセット以外は、投映モードをカスタムに選択したとき有効になります。

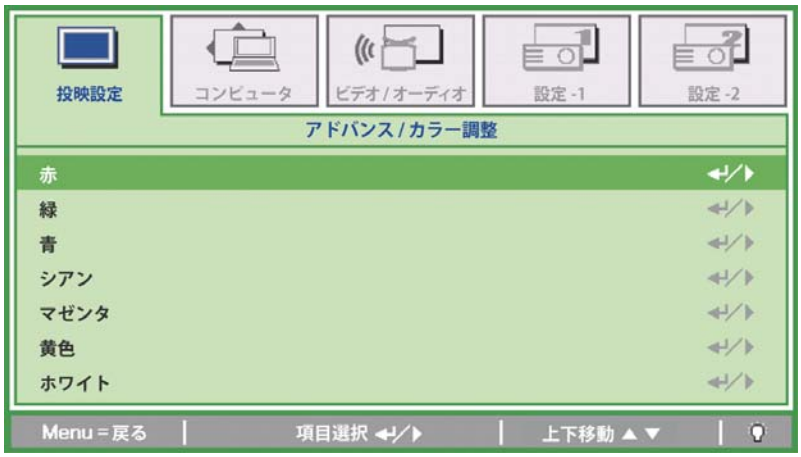
アドバンス機能

Menu ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。◀▶カーソルボタンを押して、**投映設定**メニューに移動します。
▼▲を押して、**アドバンス**メニューに移動したら、**Enter** または▶を押してください。▲▼カーソルボタンを押して、**アドバンス**メニュー内を上下に移動します。
※投映モードをカスタムに選択されているとき有効になります。

項目	説明
カラースペース選択	◀▶カーソルボタンを押して、カラースペースを調整します。
色温度	◀▶カーソルボタンを押して、色温度を調整します。
カラー調整	↵(Enter)/ ▶を押すと、カラー調整メニューに移行します。カラー調整について詳しくは、33ページの「カラー調整」を参照してください。

カラー調整

◀↵(Enter)/ ▶を押すと、**カラー調整**サブメニューに移行します。



項目	説明
赤	選択すると、カラー調整(赤)に移行します。 ◀▶ボタンを押して、色調補正、彩度調整、ゲインを調整します。
緑	選択するとカラー調整(緑)に移行します。 ◀▶ボタンを押して、色調補正、彩度調整、ゲインを調整します。
青	選択するとカラー調整(青)に移行します。 ◀▶ボタンを押して、色調補正、彩度調整、ゲインを調整します。
シアン	選択すると、カラー調整(シアン)に移行します。 ◀▶ボタンを押して、色調補正、彩度調整、ゲインを調整します。
マゼンタ	選択するとカラー調整(マゼンタ)に移行します。 ◀▶ボタンを押して、色調補正、彩度調整、ゲインを調整します。
黄色	選択するとカラー調整(黄色)に移行します。 ◀▶ボタンを押して、色調補正、彩度調整、ゲインを調整します。
ホワイト	選択するとカラー調整(ホワイト)に移行します。 ◀▶ボタンを押して、赤、緑、青を調整します。

コンピュータメニュー

Menu ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。◀▶カーソルボタンを押して、**コンピュータ**メニューに移動します。
▲▼カーソルボタンを押して、**コンピュータ**メニュー内を上下に移動します。◀▶を押して、設定値を変更してください。

項目	説明
水平位置調整	◀▶カーソルボタンを押して、画面位置を左右に調整します。
垂直位置調整	◀▶カーソルボタンを押して、画面位置を上下に調整します。
周波数補正	◀▶カーソルボタンを押して、A/D サンプリングクロックを調整します。
位相調整	◀▶カーソルボタンを押して、A/D サンプリングドットを調整します。
自動調整	↵(Enter)/ ▶を押すと、位相、トラッキング、サイズ、位置の自動調整を行います。

ビデオ/オーディオメニュー

Menu ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。◀▶カーソルボタンを押して、**ビデオ/オーディオ**メニューに移動します。▲▼カーソルボタンを押して、**ビデオ/オーディオ**メニュー内を上下に移動します。◀▶を押して、設定値を変更してください。

項目	説明
ビデオ AGC	◀▶ボタンを押して、映像信号の自動ゲイン調整を有効または無効にします。
彩度調整	◀▶ボタンを押して、彩度調整を調整します。
色相	◀▶ボタンを押して、色相、色調を調整します。
フィルムモード	◀▶カーソルボタンを押して、別のフィルムモードを選択します。
オーバースキャン	◀▶カーソルボタンを押して、オーバースキャンを有効または無効にします。
オーディオ	↵(Enter)/ ▶を押すと、オーディオメニューに移行します。 36ページの「オーディオ」を参照してください。
リセット	↵(Enter)/ ▶を押すと、全ての設定がデフォルト値に戻ります。

注記:
インターレース映像再生時には映像にジャギーが現れることがあります。この問題を解決するには、ビデオ/オーディオメニューを開いて、フィルムモード機能を調整してください。

オーディオ

↵(Enter)/ ▶を押すと、**オーディオ**サブメニューに移行します。

項目	説明
音量	◀▶ボタンを押して、音量を調整します。
ミュート	◀▶ボタンを押して、スピーカーをオン/オフします。
オーディオ入力	◀▶カーソルボタンを押して、オーディオ入力を選択します。

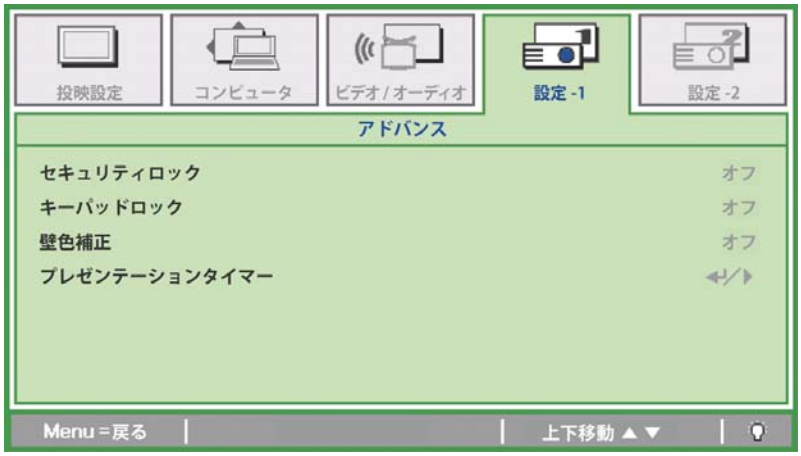
設定-1 メニュー

Menu ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。◀▶カーソルボタンを押して、**設定-1** メニューに移動します。
▲▼カーソルボタンを押して、**設定-1** メニュー内を上下に移動します。◀▶を押して、設定値を変更してください。

項目	説明
言語	◀▶カーソルボタンを押して、別の言語を選択します。
ブランク画面	◀▶カーソルボタンを押して、ブランク画面の色を選択します。
投映位置	◀▶カーソルボタンを押して、4 つの投映方法から選択します。
アスペクト比	◀▶カーソルボタンを押して、映像のアスペクト比を調整します。
台形補正	◀▶カーソルボタンを押して、投映画面の台形補正を行います。
デジタルズーム	◀▶カーソルボタンを押して、デジタルズームメニューを調整します。
アドバンス	↵(Enter)/ ▶を押すと、アドバンスメニューに移行します。 40ページの「アドバンス機能」を参照してください。
リセット	↵(Enter)/ ▶を押すと、全ての設定がデフォルト値に戻ります。 (言語およびセキュリティロックを除く)

アドバンス

↵(Enter)/ ▶を押すと、**アドバンス**のサブメニューに移行します。



項目	説明
セキュリティロック	◀▶カーソルボタンを押して、セキュリティロック機能を有効または無効にします。
キーパッドロック	◀▶カーソルボタンを押して、キーパッドロック機能を有効または無効にします。
壁色補正	◀▶カーソルボタンを押して、壁色補正の設定を選択します。
プレゼンテーションタイマー	↵(Enter)/ ▶を押すと、プレゼンテーションメニューに移行します。 38ページの「プレゼンテーションタイマー」を参照してください。

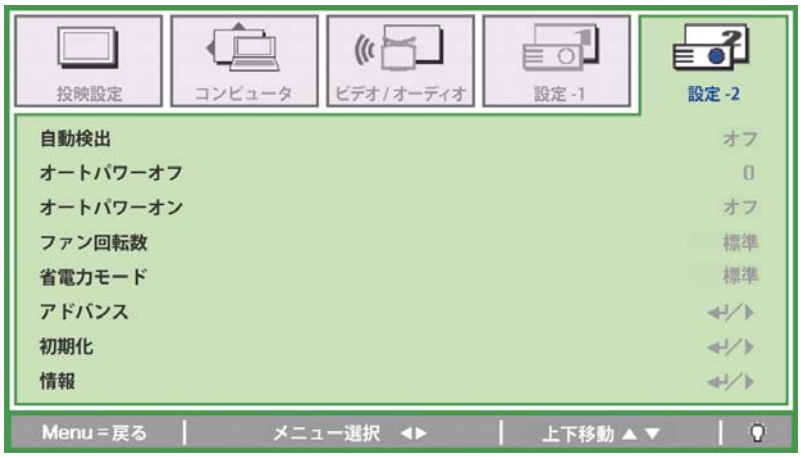
プレゼンテーションタイマー

↵(Enter)/ ▶を押すと、**プレゼンテーションタイマー**のサブメニューに移行します。

項目	説明
タイマー	◀▶カーソルボタンを押して、プレゼンテーションタイマー機能を有効または無効にします。
タイマー時間	◀▶カーソルボタンを押して、表示タイマー時間を調整します。
タイマーリセット	↵(Enter)/ ▶を押すと、プレゼンテーションタイマーカウンターがリセットされます。

設定-2 メニュー

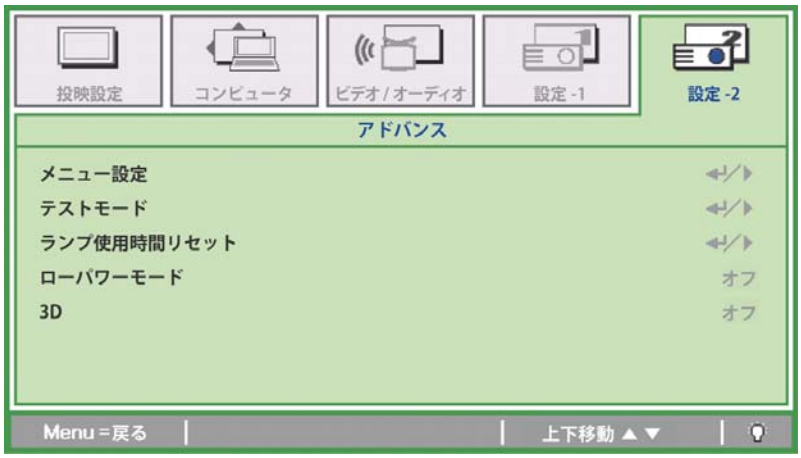
Menu ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。◀▶カーソルボタンを押して、**設定-2** メニューに移動します。
▲▼カーソルボタンを押して、**設定-2** メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
自動検出	◀▶カーソルボタンを押して、自動検出機能を有効または無効にします。
オートパワーオフ	◀▶カーソルボタンを押して、無信号状態になったとき、自動的にランプを切る機能を有効または無効にします。
オートパワーオン	◀▶カーソルボタンを押して、AC 電源供給時に自動的に本機の電源を入れる機能を有効または無効にします。
ファン回転数	◀▶カーソルボタンを押して、ファン回転数の標準/高を切り替えます。 **注記**：温度、湿度、または高度が高い場所で使用する場合は、高回転数を選択することをお勧めします。
省電力モード	◀▶カーソルボタンを押して、省電力モードを選択します。ランプの明るさを調整しランプの寿命を節約することができます。
アドバンス	↵(Enter)/ ▶を押すと、アドバンスメニューに移行します。 40ページの「アドバンス機能」を参照してください。
初期化	↵(Enter)/ ▶を押すと、初期化されます。
情報	↵(Enter)/ ▶を押すと、情報メニューに移行します。 「情報」について詳しくは、43ページをご参照ください。

アドバンス機能

Menu ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。◀▶カーソルボタンを押して、**設定-2** メニューに移動します。
▼▲を押して、**アドバンス**メニューに移動したら、**Enter** または▶を押してください。▲▼カーソルボタンを押して、**アドバンス**メニュー内を上下に移動します。◀▶を押して、設定値を変更してください。



項目	説明
メニュー設定	↵(Enter)/ ▶を押すと、メニュー設定に移行します。 「メニュー設定」について詳しくは、41ページをご参照ください。
テストモード	↵(Enter)/ ▶を押すと、テストモードメニューに移行します。 「テストモード」について詳しくは、41ページをご参照ください。
ランプ使用時間リセット	ランプを交換した後は、この項目をリセットしてください。 「ランプ使用時間リセット」について詳しくは、42ページをご参照ください。
ローパワーモード	◀▶カーソルボタンを押して、ローパワーモードをオンまたはオフします。
3D	◀▶カーソルボタンを押して、3D モード・3D 同期設定に移行します。

注記:

3D 専用メガネを使用して、DLP Link 方式による 3D 映像の視聴ができます。

3D 映像信号は 120Hz のフレームシーケンシャル方式のみの対応となります。

フレームパッキング方式・サイドバイサイド方式などには対応していません。

3D 映像を楽しむためには

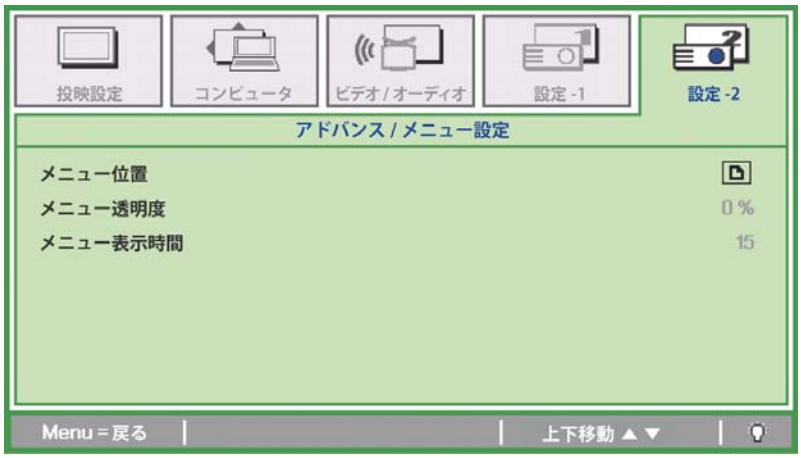
- DLP-Link 方式のアクティブシャッター3D メガネ
- 3D 専用コンテンツ
- 3D 専用コンテンツを再生出来る機器

が必要になります。

PC の場合 ATI RadeonHD、Nvidia Quadro などのクアッドバッファのグラフィックボードを用意しリフレッシュレートを 120Hz に設定し 3D再生ソフトにてフレームシーケンシャルモードにて視聴できます。

3D モードはアナログ RGB 又は HDMI(1.3)に対応します。

メニュー設定

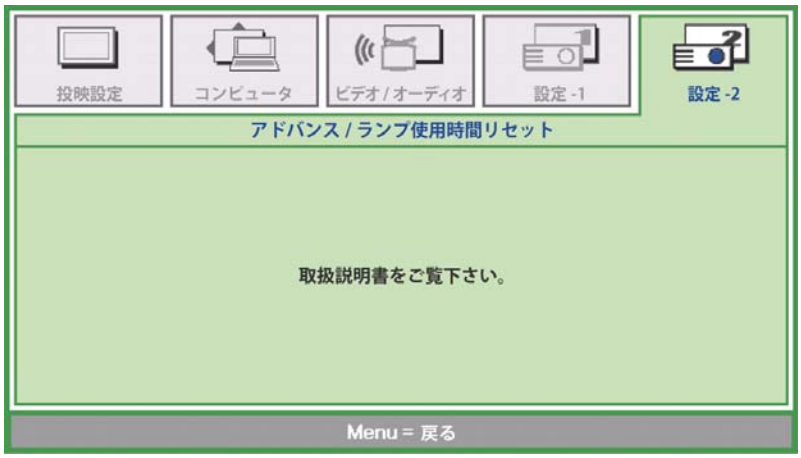


項目	説明
メニュー位置	◀▶カーソルボタンを押して、メニューの表示位置を選択します。
メニュー透明度	◀▶カーソルボタンを押して、メニュー背景の透明度を選択します。
メニュー表示時間	◀▶カーソルボタンを押して、メニューのタイムアウト遅延時間を選択します。

テストモード

項目	説明
リモートコントロールテスト	↵(Enter) / ▶を押すと、IR リモコンの診断テストを行います。
カラーテスト	↵(Enter) / ▶を押して、画面上で色を選択します。
ボタンテスト	↵(Enter) / ▶を押すと、キーパッドのボタンをテストします。

ランプ使用時間リセット



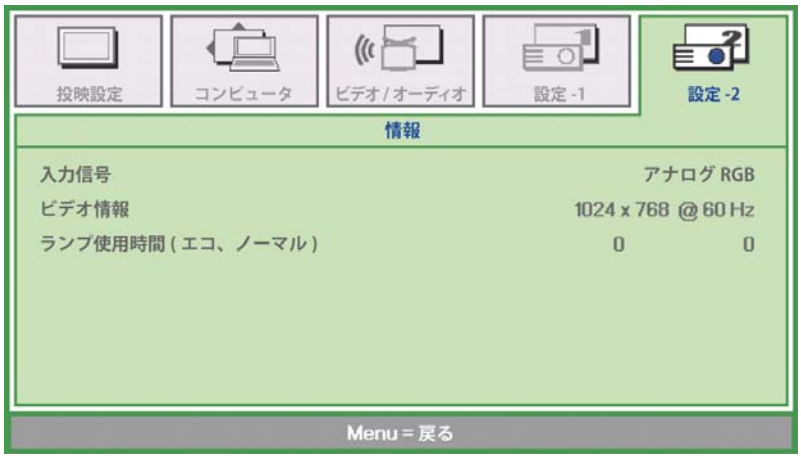
ランプ使用時間カウンターをリセットするには、46ページの「ランプ使用時間のリセット」をご参照ください。

初期化

▲▼カーソルボタンを押して、**設定-2** メニュー内を上下に移動します。全てのメニュー項目（言語、セキュリティロック、3D を除く）を工場出荷時の設定値に戻すには、**初期化**のサブメニューを選択し、↵(Enter)/ ▶を押してください。

情報

▲▼カーソルボタンを押して、**設定-2** メニュー内を上下に移動します。**情報**のサブメニューに移行するには、**設定-2** のサブメニューを選択し、↵(Enter)/ ▶を押してください。



項目	説明
入力信号	入力信号を表示します。
ビデオ情報	RGB ソースの解像度/ビデオ情報およびビデオソースの色度標準を表示します。
ランプ使用時間 (エコ、ノーマル)	ランプの使用時間を表示します。エコモードの使用時間とノーマルモードの使用時間は別々に表示されます。

メンテナンスおよびセキュリティ

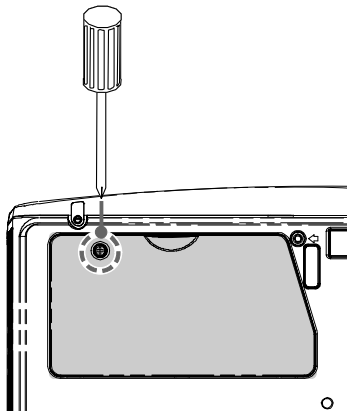
ランプの交換

- 本機の光源に使われているランプには寿命があります。ランプの定格寿命は約 2000 時間（ノーマルモードのみ使用時）、**省電力モード**で約 3000 時間です。なお、ランプ寿命は使用条件などにより早まる場合があります。省電力モードを使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。
  （定格寿命とは長期間に製造されたランプの寿命の平均値を言い、当社試験条件によるものです。定格寿命は当社試験条件による平均値であり、この時間まで動作を保証するものではありません。）
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は **KG-PS301WS** 交換用ランプ（型名 **KG-LPS3230** / 注文コード **604-795**）とご指定ください。

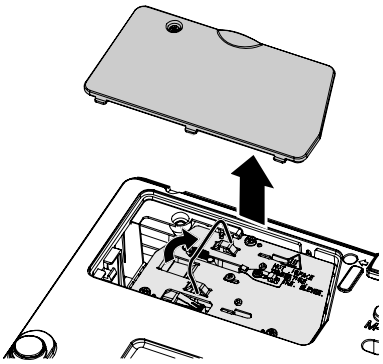
⚠注意

- ランプカートリッジの交換は、電源を切り、冷却ファンが停止したのを確認後、電源プラグをコンセントから抜き、約 45 分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプカートリッジを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
- 指定のネジ以外はゆるめないでください。
- ランプを素手で触らないでください。ランプの寿命が短くなる原因となります。
- ランプ寿命が近くなると、ランプが破裂する可能性があります。この場合、大きな音がしてランプカートリッジのガラスが飛び散る場合があります。けがをする恐れがありますので、ガラスの破片には触れないでください。このようなことが発生した場合は、カスタマーセンターやプロジェクタを購入した店舗にお問い合わせください。

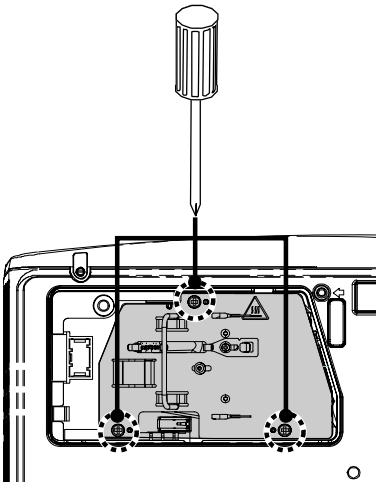
1. ランプカバーのネジを緩めてください。



2. ランプカバーを取り外します。

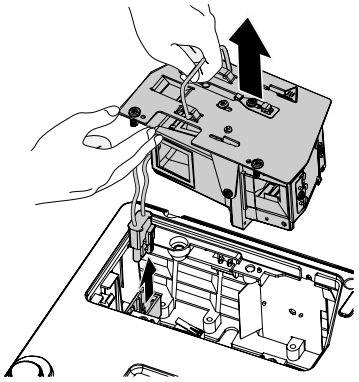


3. ランプカートリッジの 3 本のネジを取り外してください。



4. ランプカートリッジの取っ手を持って上に引いてください。

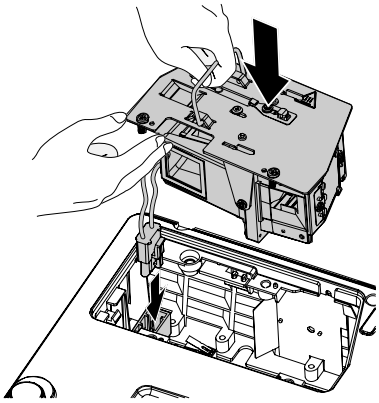
5. ランプコネクターを外します。



6. カートリッジの取っ手をしっかりと引いて、ランプカートリッジを取り外してください。

7. 1～6 の手順を逆に行って、新しいランプカートリッジを取り付けてください。
取り付け時は、ランプカートリッジをコネクターに合わせて取り付け、損傷しないように、カートリッジが水平になっているのを確認してください。

注記：ネジを締める前に、ランプカートリッジがしっかりと所定の位置に取り付けられ、ランプコネクターが正しく接続されていることを確認してください。



ランプ使用時間のリセット

ランプを交換した後は、ランプ使用時間のカウンターをゼロにリセットする必要があります。以下をご参照ください。

1. **Menu** ボタンを押して、**メニュー**を表示させてください。

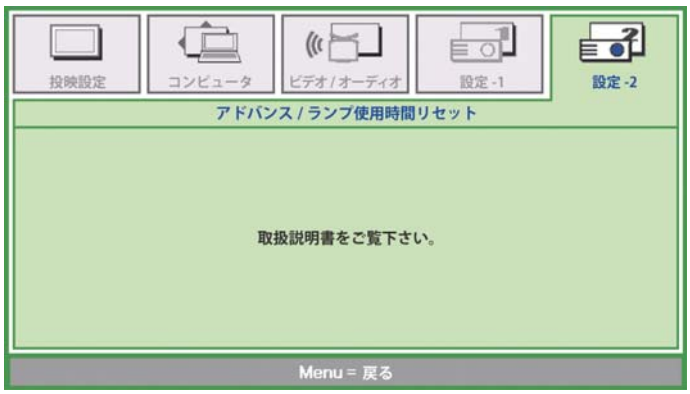
2. ◀▶カーソルボタンを押して、**設定-2** メニューに移動します。カーソルボタンを押して、**アドバンス**まで下に移動してください。

3. ▼▲カーソルボタンを押して、**ランプ使用時間リセット**まで下に移動します。

4. ▶カーソルボタンまたは Enter を押してください。

メッセージ画面が表示されます。

5. ▼▲◀▶ボタンを押して、ランプ使用時間をリセットしてください。



6. **Menu** ボタンを押すと、設定-2 に戻ります。

プロジェクタのお手入れ

- お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクタ本体やレンズに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料のはがれなどの原因となります。

プロジェクタ本体の汚れは

- 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 排気孔や吸入孔のほこりを取り除く場合は、掃除機にブラシアタッチメントを取り付けて清掃してください。アダプタやノズルアダプタを取り付けずに掃除機を使うことは避けてください。
- プロジェクタ本体を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

レンズの汚れは

- カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

吸気孔、排気孔のほこりは

吸気孔、排気孔にほこりがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。最低でも使用期間 100 時間を目安に掃除をしてください。

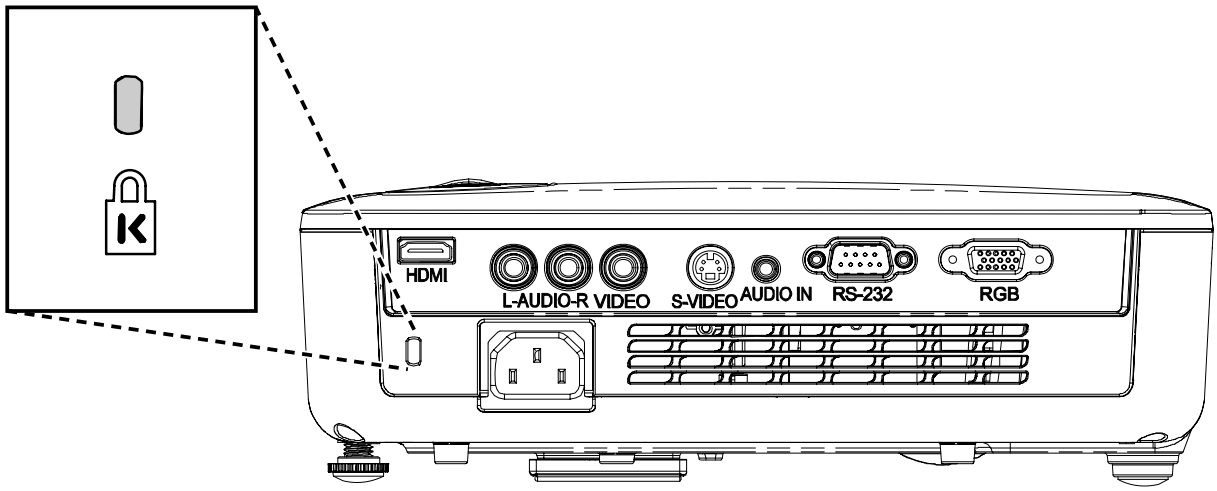
- 電源を切り、POWER ボタンのインジケーターが青色の点灯に変わったのを確認後、電源コードを抜いてください。
- 外側から電気掃除機で吸い取ってください。掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに使用したり、ブラシなしのアダプタを使用することは避けてください。

本体内部の掃除は

- 年に 1 度くらいは本体内部の掃除が必要です。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除はご自分でせず、必ず販売店にご相談ください。

Kensington®ロックの使い方

Kensington スロットとセキュリティケーブルを使ってプロジェクタを常設物につないでください。盗難やいたずら防止に役立ちます。



注記:

最適な Kensington セキュリティケーブルのご購入に関する詳細は、販売業者にお問い合わせください。

本製品のセキュリティロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

故障かな？と思ったら

よくある問題と解決方法

このガイドラインでは、プロジェクタをお使いになるときに起こりえる問題に対処するためのヒントを記載しています。問題が解決されない場合は、カスタマーセンターにお問い合わせください。

時間をかけてトラブルシューティングを行った後で、問題の原因が接触不良のような単純なことだと分かることはよくあることです。各問題の解決方法に進む前に、以下のことを確認してください。

- 別の電気装置を使って、電気出力が機能していることを確認する。
- プロジェクタの電源が入っていることを確かめる。
- すべての接続がしっかりとつながれていることを確かめる。
- 接続機器の電源が入っていることを確かめる。
- 接続しているパソコンがスタンバイモードになっていないか確かめる。
- 接続しているノートパソコンが外部ディスプレーに設定されていることを確かめる。（通常、ノートパソコンの Fn キーと組み合わせて押すことで設定可能です。）

インジケーターのエラーメッセージ

エラーコードメッセージ	POWER インジケーター 点滅	OVER TEMP インジケーター	LAMP インジケーター 点滅
温度オーバー	0	点灯	0
その他のエラー	4	0	0
ランプエラー	0	0	点灯
ファン 1 エラー	6	0	1
ファン 2 エラー	6	0	2
ファン 3 エラー	6	0	3
ランプドア　開	7	0	0
DMD エラー	8	0	0
カラーホイールエラー	9	0	0

エラーが発生した場合は、電源コードを抜いて 1 分間待ってからもう一度プロジェクタの電源を入れてください。Power インジケーターもしくは LAMP インジケーターがまだ点滅している、または Over Temp インジケーターが点灯している場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

映像の問題

問題：映像が画面に現れない

1. ノートパソコンまたはデスクトップパソコンの設定を確認してください。
2. すべての装置の電源を切り、正しい順番で再度電源を入れてください。

問題：映像がぼやける

1. プロジェクタの**フォーカス**を調整してください。
2. リモコンまたはプロジェクタ本体の **Auto** ボタンを押してください。
3. プロジェクタから投映画面までの距離が 10 メートルの規定範囲内であることを確認してください。
4. プロジェクタのレンズが汚れていないことを確認してください。

問題：映像の上部または底部が広くなっている（台形歪み）

1. できる限りスクリーンに垂直になるようにプロジェクタの位置を合せてください。
2. リモコンまたはプロジェクタ本体の **Keystone** ボタンを使って問題を解決してください。

問題：映像が反転する

設定-1 メニューの**投映位置設定**を確認してください。

問題：映像に縞模様が入る

1. **コンピュータ**メニューの**周波数補正**および**位相調整**の設定値を初期設定に戻してください。
2. 接続されているパソコンのビデオカードが原因ではないことを確かめるために、別のコンピュータに接続してください。

問題：コントラストがなく映像が平坦になっている

投映設定メニューで**コントラスト調整**の設定を調整してください。

問題：投映されている映像の色がソース映像と一致しない

投映設定メニューで**色温度**および**ガンマ**の設定を調整してください。

ランプの問題

問題：プロジェクタから光が出ない

1. 電源コードがしっかりと接続されているか確認してください。
2. 別の電気装置を接続して電源をテストし、電源の状態が良好であることを確かめてください。
3. 正しい順序でプロジェクタの電源を入れ、Power インジケーターが緑になっていることを確認してください。
4. ランプを最近交換した場合は、ランプの接続をやり直してみてください。
5. ランプカートリッジを交換してください。
6. 古いランプをプロジェクタに取り付け、プロジェクタを点検に出してください。

問題：ランプが消える

1. 電力サージによりランプが消えた可能性があります。電源コードを差し直してください。Power インジケーターが点灯したら、Power ボタンを押してください。
2. ランプカートリッジを交換してください。
3. 古いランプをプロジェクタに取り付け、プロジェクタを点検に出してください。

リモコンの問題

問題：プロジェクタがリモコンに反応しない

1. リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
2. リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がないことを確かめてください。
3. 部屋の蛍光灯をすべて消してください。
4. 電池の極性を確認してください。
5. 電池を交換してください。
6. 近くにある赤外線対応装置の電源を切ってください。
7. リモコンもしくは本体の故障の可能性があります。プロジェクタを点検に出してください。

音声の問題

問題：音声が出ない

1. リモコンで音量を調整してください。
2. オーディオソースの音量を調整してください。
3. オーディオケーブルの接続を確認してください。
4. 他のスピーカーでソースの音声出力をテストしてください。
5. プロジェクタ本体を点検に出してください。

問題：音がひずむ

1. オーディオケーブルの接続を確認してください。
2. 他のスピーカーでソースの音声出力をテストしてください。
3. プロジェクタ本体を点検に出してください。

プロジェクタの点検を依頼する

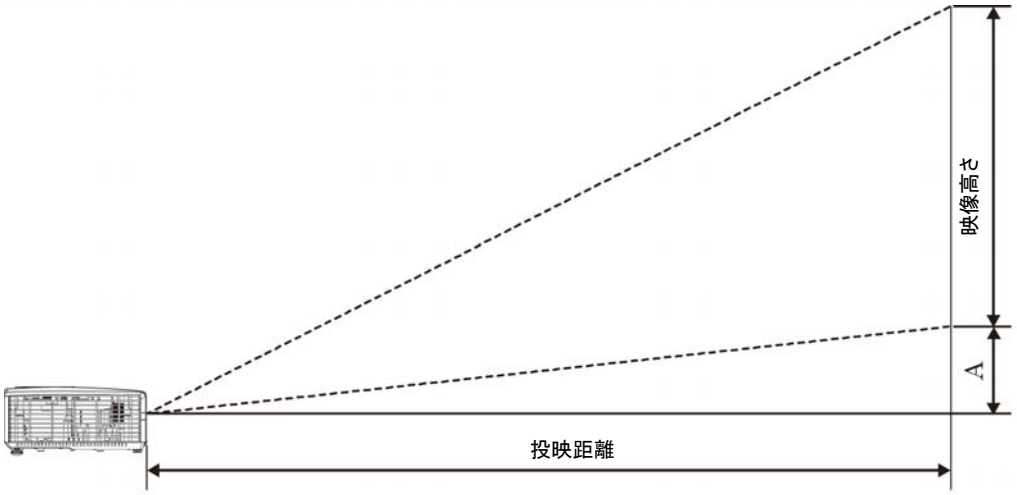
以上のことを行っても解決しないときは、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

主な仕様

仕様一覧

型番	PS301WX
表示方式	DMD WXGA 0.65”
解像度	WXGA 1280 x 800 ネイティブ
投映距離	0.8～5m
投映画面サイズ	50”～300”
投映レンズ	手動フォーカス/ズーム
ズーム比	1.1
スロー比	0.72～0.79
上下方向の台形補正	±10 度
投映方法	前方、背面、卓上 / 天吊り（背面、前方）
データ互換性	VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGA、Mac
SDTV/EDTV/ HDTV	480i、480p、720p、1080i、1080p
ビデオ信号方式	NTSC/NTSC 4.43、PAL（B/G/H/I/M/N/60）、SECAM
水平同期周波数	15、30～90kHz
垂直同期周波数	43～85Hz
安全性認定	FCC-B、cUL、UL、CE、C-tick、CCC、KC、CB、PCT、PSB、ICES-003
動作温度	5～35℃
寸法（W x H x D）	261.3mm × 190.7mm × 78mm
電源入力	AC100～240V 50Hz/60Hz
消費電力	標準 300W（ノーマル）/ 標準 230W（エコ）
スタンバイ	<1W
ランプ	240W（ノーマル）/ 180W（エコ）
音声スピーカー	1W モノラル
入力端子	VGA（15 ピン D-Sub）× 1
	S-Video × 1
	Composite Video × 1
	HDMI
	RCA ステレオ × 1
	ステレオミニジャック × 1
コントロール端子	RS-232C
セキュリティ	Kensington ロック

投映距離と投映画面サイズ



投映距離と投映画面サイズ一覧表

スクリーン呼び名（インチ）	画面サイズ（m） 横 × 縦			投映距離（m） ワイド	テレ	映像高さ（mm）	A（mm）
46	0.99	×	0.62	0.71	0.78	0.62	0.07
60	1.29	×	0.81	0.93	1.02	0.81	0.09
80	1.72	×	1.08	1.24	1.36	1.08	0.12
100	2.15	×	1.35	1.55	1.70	1.35	0.15
120	2.58	×	1.62	1.86	2.04	1.62	0.19
150	3.23	×	2.02	2.33	2.55	2.02	0.23
200	4.31	×	2.69	3.10	3.40	2.69	0.31
250	5.38	×	3.37	3.88	4.25	3.37	0.39
300	6.46	×	4.04	4.65	5.10	4.04	0.46

対応周波数一覧表

信号	解像度	水平同期（KHz）	垂直同期（Hz）	COMPOSITE / S-VIDEO	COMPONENT	RGB	HDMI
NTSC	—	15.734	60.0	O	—	—	—
PAL/SECAM	—	15.625	50.0	O	—	—	—
VESA	720 × 400	37.9	85.0	—	—	O	O
	640 × 480	31.5	60.0	—	—	O	O
	640 × 480	37.9	72.0	—	—	O	O
	640 × 480	37.5	75.0	—	—	O	O
	640 × 480	43.3	85.0	—	—	O	O
	800 × 600	35.2	56.0	—	—	O	O
	800 × 600	37.9	60.0	—	—	O	O
	800 × 600	48.1	72.0	—	—	O	O
	800 × 600	46.9	75.0	—	—	O	O
	800 × 600	53.7	85.0	—	—	O	O
	1024 × 768	48.4	60.0	—	—	O	O
	1024 × 768	56.5	70.0	—	—	O	O
	1024 × 768	60.0	75.0	—	—	O	O
	1024 × 768	68.7	85.0	—	—	O	O
	1280 × 800	49.7	59.8	—	—	O	O
	1280 × 800	62.8	74.9	—	—	O	O
	1280 × 800	71.6	84.8	—	—	O	O
	1280 × 1024	63.98	60.0	—	—	O	O
	1280 × 1024	79.98	75.0	—	—	O	O
	1280 × 1024	91.10	85.0	—	—	O	O
	1280 × 960	60.0	60.0	—	—	O	O
	1280 × 960	85.9	85.0	—	—	O	O
	1400 × 1050	65.3	60.0	—	—	O	O
	1440 × 900	70.6	75.0	—	—	O	O
	1440 × 900	55.6	60.0	—	—	O	O
	1600 × 1200	75.0	60.0	—	—	O	O

信号	解像度	水平同期（KHz）	垂直同期（Hz）	COMPOSITE / S-VIDEO	COMPONENT	RGB	HDMI
Apple Mac	640 × 480	35.0	66.68	—	—	○	○
	832 × 624	49.725	74.55	—	—	○	○
	1024 × 768	60.24	75.0	—	—	○	○
	1152 × 870	68.68	75.06	—	—	○	○
SDTV	480i	15.734	60.0	—	○	—	○
	576i	15.625	50.0	—	○	—	○
EDTV	480p	31.469	60.0	—	○	—	○
	576p	31.25	50.0	—	○	—	○
HDTV	720p	37.5	50.0	—	○	—	○
	720p	45.0	60.0	—	○	—	○
	1080i	33.8	60.0	—	○	—	○
	1080i	28.1	50.0	—	○	—	○
	1080p	67.5	60.0	—	○	—	○
	1080p	56.3	50.0	—	○	—	○
	1080p（24/30Hz）			—	○	—	○

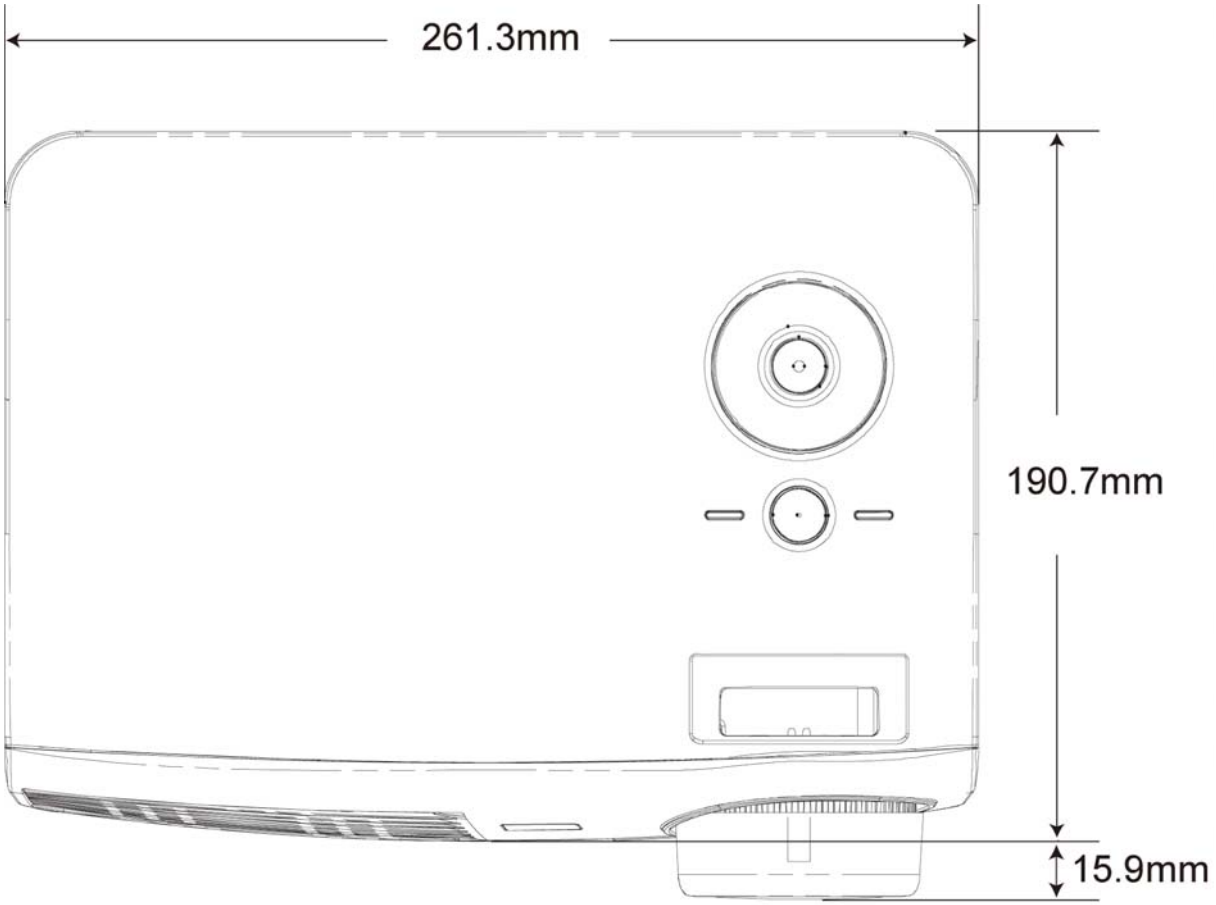
3D モード

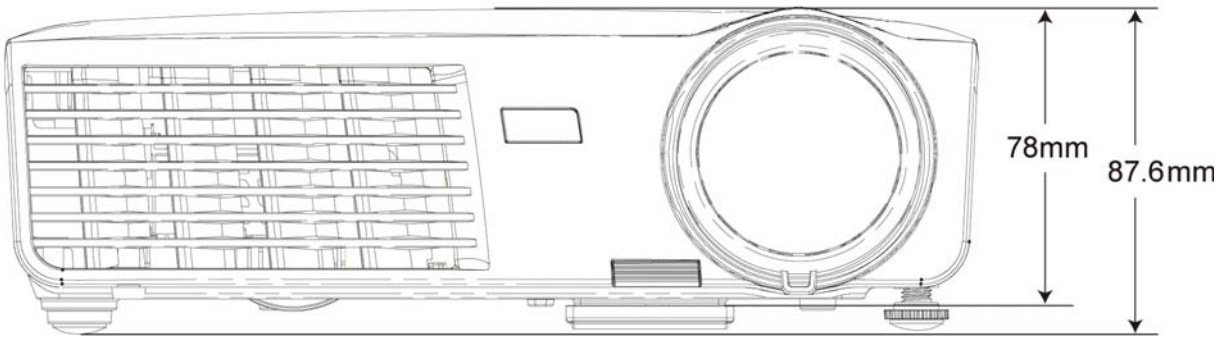
信号	解像度	水平同期（KHz）	垂直同期（Hz）	COMPOSITE / S-VIDEO	COMPONENT	RGB	HDMI
VGA	640 × 480	61.6	120	—	—	○	○
SVGA	800 × 600	77.2	120	—	—	○	○
XGA	1024 × 768	98.8	120	—	—	○	○
WXGA	1280 × 720	92.9	120	—	—	○	○

○：対応周波数
—：非対応周波数
＊：表示可能レベル

解像度 1280 × 800 以外の解像度は、文字または線が不鮮明な状態で表示される可能性があります。

本体寸法





アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お近くの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお申し出ください。なお、製品保証、使いかたなどのご不明の点につきましても、販売店または弊社「カスタマーセンター」をご利用ください。

無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より 1 年以内のもの）が添付されている場合には、無料修理させていただきます。その際修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料になります。保証期間内であっても、下記の様な場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または販売店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、手掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、弊社またはお近くの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、本プロジェクタの補修用性能部品を製造打切り後、5 年間保有しています。
（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合は、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属物は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。

http://www.taxan-projector.jp

加賀コンポーネント・プロジェクタ
カスタマーセンター
0120-331-059

KAGA COMPONENTS CO., LTD.